

1

今の放送で聞き取ったことをもとに、次の(1)～(3)の問題に答えましょう。

(1) この話し合いは、何を決めるためのものでしたか。次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きましょう。①

- 1 「全校なわとび集会」の内容について。
- 2 「全校なわとび集会」で発表する学年ごとの種目について。
- 3 「全校なわとび集会」での名人の決め方について。
- 4 「全校なわとび集会」でする長なわとびの方法について。

(2) 小林さんはどんな考えから長なわとびをすることを提案ていあんしましたか。次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きましょう。②

- 1 名人を決めることで、集会を盛り上げたいから。
- 2 各学年が練習しているなわとびを、おたがいに紹介しょうかいできる集会にしたいから。
- 3 短なわとびをおたがいに紹介しょうかいしたり名人を決めたりする集会は、つまらないから。
- 4 一年生から六年生までのみんなが、協力して楽しく遊べる集会にしたいから。

(3) 次の文のうち、長なわとびをすることを提案ていあんした小林さんの話し方のくふうとしてあてはまることはどれですか。次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きましょう。③

- 1 同じことをくり返し言って、自分の意見を強くうったえている。
- 2 前の人の意見に対する考えを話したうえで、自分の意見を発表している。
- 3 意見をいろいろ出してから、いちばん言いたいことを最後にまとめている。
- 4 自分の考えを最初に発表して、次にその理由を説明している。

2 次の(1)、(2)の問題に答えましょう。

(1) 次の文の——線の読み方をひらがなで書きましょう。

- ① 必要なものをそろえる。 4
- ② 孫を連れて公園に行く。 5
- ③ 考えを改める。 6

(2) 次の文の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。③は送りがないも書きましょう。

- ① 交通がべんりになる。 7
- ② 草のめが生える。 8
- ③ ローマ字をおぼえる。 9

3 次の(1)～(9)の問題に答えましょう。

(1) 次の——線の言葉を、国語辞典で調べようと思います。この言葉はどんな形で国語辞典にのっていますか。あとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きましょう。 10

遊んでいたら、家に帰るのがおそくなった。

- 1 おそく
- 2 おそかった
- 3 おそくなった
- 4 おそい

(2) 「詩」という漢字を、漢字辞典で引く方法を、次のように説明しました。
 「ア」には、部首名をひらがなで書きましよう。「イ」には、数字を書きましよう。

部首さくいで引くときは、部首である「ア」をさがす。総そう画数で調べるときは、「イ」画のところをさがす。

(3) 次の文の□に入る漢字はどれですか。あとの1〜4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。

工作で使う材□を集める。

- 1 量
- 2 良
- 3 両
- 4 料

(4) 次の文のうち——線の言葉の使い方が正しいものはどれですか。次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。

- 1 がんばってかいた絵が完成してはらはらした。
- 2 集合時こくにおくれそうになってはらはらした。
- 3 からんだ糸がうまくほどけずにはらはらした。
- 4 マラソンのゴールが近づいてきたのではらはらした。

(5) 次の——線の言葉を、似た意味の他の言葉に言いかえると、□にはどんな言葉が入りますか。□に入る漢字一字を書きましよう。

ケガをした白鳥を救う。



ケガをした白鳥を□ける。

(6) 次の□の言葉をならべかえて、意味の通じる一文を作り、できあがった文を書きましよう。

白い山が

遠くに

富士山です

見える

(7) 次の――線の言葉は、どの言葉の様子をくわしく表していますか。あとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。

応えんリーダーが堂々と大きな旗をふった。

- 1 応えんリーダー
- 2 大きな
- 3 旗
- 4 ふった

(8) 次のローマ字の言葉を、ひらがなに直して書きましよう。

gakki

(9) 「はなび」という言葉を、ローマ字で書きましよう。
(解答らんが横書きになっているので注意ましよう。)

4

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)の問題に答えましょう。

著作権法によりホームページに問題を掲載することができません。

必要な方は、義務教育課あてご連絡ください。

(出典 読書の時間に読む本②)

小学5年生 (ポプラ社)

生源寺美子 「から松林のなかで」より

(1) この文章は、「現在の場面(一、三場面)」と「前のことを思い出し出している場面(二場面)」に分けられます。二場面と三場面の初めの五字を書きましよう。¹⁹

(2) この文章の二場面の中で、一ヶ所だけ「現在の思い」が描^{えが}かれています。その部分があります。その部分の初めの五字を書きましよう。²⁰

(3) うばいあいのようにしてかわいがりましとありますが、これは、ぼくと妹のどんな様子を表していますか。次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。²¹

- 1 うさぎを相手にわたさないようにしてかわいがる様子。
- 2 うさぎを相手に見つからないようにかくしてかわいがる様子。
- 3 うさぎを二人でなかよくゆずりあってかわいがる様子。
- 4 うさぎを先に世話した方がかわいがる様子。

(4) お母さんもすっかり安心してたとありますが、それはなぜですか。次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。²²

- 1 うさぎが死んだのは病気が原因で、二人のせいではなかったから。
- 2 うさぎはぐんぐん育って、夏のさかりでも元気にはねまわっていたから。
- 3 うさぎをめずらしく思わなくなっても、二人はかわいがっていたから。
- 4 うさぎの世話を二人が当番をきめてきちんとしていたから。

(5) ぼくはおどろいてとありますが、それはなぜですか。次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きましよう。²³

- 1 草をやらなかったぼくのかわりに、妹がうさぎにあやまったから。
- 2 うさぎが、こんなによわい生き物だとは思わなかったから。
- 3 妹もえさの草をかるのをわすれていたことを知ったから。
- 4 妹も自分がうさぎを死なせたと思っっていることを知ったから。

5

次の文章を読んで、あとの(1)と(4)の問題に答えましょう。

著作権法によりホームページに問題を掲載することができません。

必要な方は、義務教育課までご連絡ください。

(出典 わたしの昆虫記④ (偕成社) 矢島 稔 「樹液をめぐる昆虫たち」より)

(1) 「水と燃料が必要」とありますが、次の①と②の問題に答えましょう。

① 「水」を手に入れるためにどのようにしていたかがわかる段落の番号を書き
ましょう。²⁴

② 「燃料」を手に入れるためにどのようにしたか、二〇字以上、二五字以内で
書きましょう。(「。」や「」も字数にふくみます。)²⁵

(2) ア、イには、同じ言葉が入ります。次の1〜4の中から正しいも
のを一つ選び、その番号を書きましょう。²⁶

- 1 つまり
- 2 だから
- 3 そして
- 4 しかし

(3) これを集め、²⁷ それを肥料にしてとありますが、何を集め、何を肥料と
したのですか。次の1〜4の中から正しい組み合わせを一つ選び、その番号
を書きましょう。²⁷

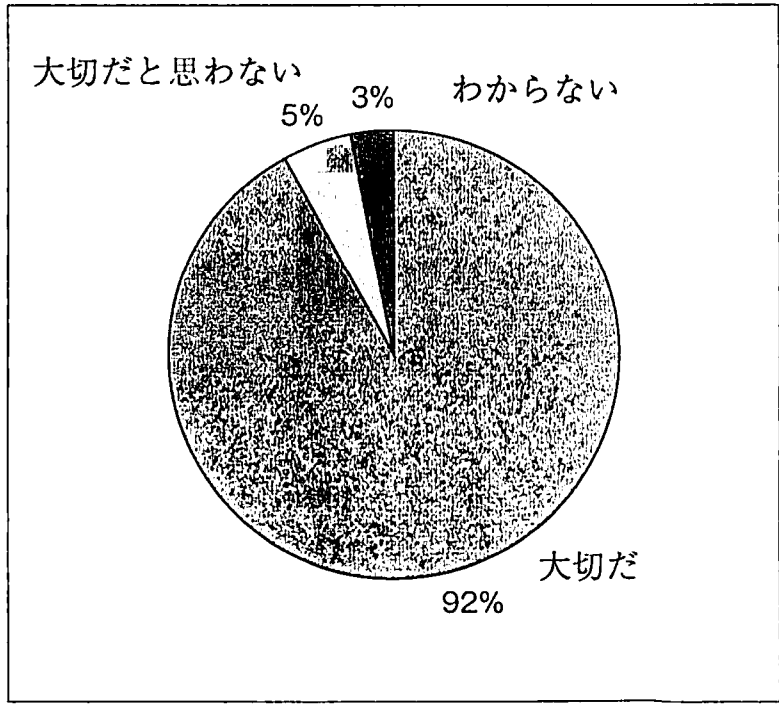
- 1 「葉」と「家畜の糞」
- 2 「葉」と「腐葉土」
- 3 「木」と「米ぬか」
- 4 「木」と「腐葉土」

(4) 「昔の人々」と「雑木林」のかかわりについて、この文章からわかること
を、次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きましょう。²⁸

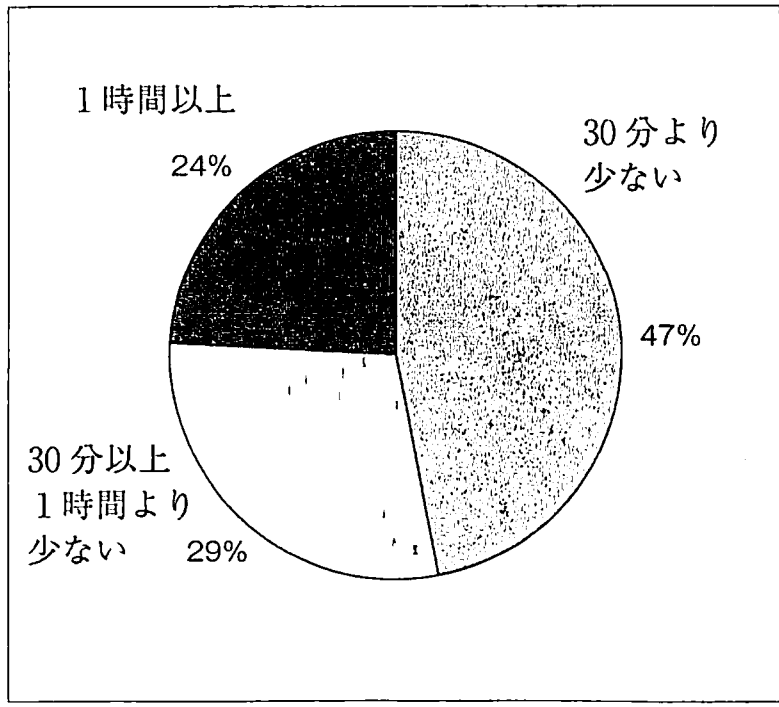
- 1 昔の人々は、雑木林に井戸をほって水を手に入れた。
- 2 昔の人々は、雑木林に病気になるにくい落葉樹だけを選んでそだてた。
- 3 昔の人々は、雑木林の一部の木を切って燃料にした。
- 4 昔の人々は、雑木林の木を大きくそだてて燃料にした。

次の二つのグラフは、宮城県の小学校五年生に「A…勉強の大切さ」と「B…土・日の家庭での学習時間」について聞いた結果をまとめたものです。この二つのグラフをもとに意見文を書くことになりました。あとの(1)、(2)の問題に答えましょう。

A: 勉強の大切さ



B: 土・日の学習時間



(※ 平成十八年度宮城県学習状況調査・学習意識調査結果報告書より)

(1) グラフAとグラフBからわかることを、それぞれ一つの文でわかりやすく書きましょう。②

(2) A・Bの二つのグラフからわかることをもとに、次の点に注意して自分の意見を書きましょう。⑩
⑪

〈注意する点〉

① グラフからわかることだけでなく、あなたが考えたことや感じたことを必ず書きましょう。

② } 七行以上、九行以内へ(二二一字以上、一八〇字以内)で書きましょう。
・二つの段落だんらくに分けて書きましょう。

聞き取り問題の内容ないよう

これから聞き取りテストを始めます。これは、ある小学校の児童会で行われた話し合いのようすです。問題文は一回しか読みません。よく聞いてあとの問題に答えましょう。聞きながらメモをとってもかまいません。その場合、解答用紙のメモらんを使ってください。

司会『これから話し合いをはじめます。きょうは、来月開かれる「全校なわとび集会」の内容について話し合います。意見がある人は手をあげてください。はい、田中君。どうぞ。』

田中『ぼくは、学年ごとにいろいろな短なわのとび方を発表したり、その学年で上手にとべる人を紹しょうかい介する集会がいいと思います。そのわけは、各学年が体育の時間に練習しているなわとびを、おたがいに紹しょうかい介できると思うからです。』

司会『今練習している短なわとびを学年ごとに発表するという提ていあん案がありました。田中君の提ていあん案への意見や、他の案はありませんか。はい、山口さん。』

山口『各学年に合った短なわとびの種目を決めて、一定の時間内に何回とべるかを競争して学年の名人を決める集会はどうでしょうか。そうすれば、みんないっしょうけんめいがんばって挑ちゅうせん戦するし、応援も盛り上がると思います。』

司会『短なわとびを学年ごとに発表する案に続いて、学年ごとに短なわとびの種目に挑ちゅうせん戦して名人を決めるといふ案が提ていあん案されました。ほかに…。はい、小林さん。』

小林『田中さんの案には、各学年で練習している短なわとびをおたがいに紹しょうかい介できるというよさがあること。また、山口さんの案には、名人を決めることで集会が盛もり上がるといふよさがあることが分かりました。どちらもよい考えだと思えます。しかし、わたしはせつかく全校が集まって行う集会なので、一年生から六年生までのみんなが協力して楽しく遊べる集会にしたいと思えます。そこで、わたしは、一年生から六年生までが混まじったグループをたくさん作って、グループごとに長なわとびをすることを提ていあん案します。たとえば、グループごとにみんなで協力して一定の時間内に何回とべるかに挑ちゅうせん戦するのはどうでしょうか。』